

令和3年度 一般会計当初予算 107 億7,100万円 (前年比+4億4,100万円 +4.3%)

●当初予算の特徴

- (1) 新型コロナの影響による大幅な税収減のなか、国の交付金等を活用して必要な事業を行う積極型の15ヶ月予算 (2) コロナ収束後を視野にデジタル化、グリーン社会、地方分散化など新たな課題に対応
(3) 地方創生まち・ひと・くらし戦略により子育て教育、経済産業、観光交流、健康活力、関係定着の5分野を展開 (4) 事務事業の見直しを行うとともに、事業レビューや各委員会における町民との対話の成果を実現

●主な新規事業等

1 新型コロナ感染拡大防止と経済対策

・感染拡大防止と町内経済を再生し町民生活を守る

(1) コロナ感染拡大防止

- ① 新型コロナウイルスワクチンの接種 ※
- ② 感染対策用品の配備

(2) 地域経済の再生と町民生活支援

- ① 第2弾持続化給付金 ※
- ② 商工業者特別金融支援利子補給
- ③ 肉用牛肥育経営安定特別対策
- ④ 国民健康保険税率の据置き
- ⑤ 介護保険料の引下げ

(3) デジタル化の推進

- ① デジタル教科書の拡充
- ② 役場業務のデジタル化の推進
(窓口支払キャッシュレス化、文書電子決裁
A I 会議録、R P A の導入)

(4) 地方分散で移住促進

- ① 関係人口の創出
(ふるさと住民票の交付、若者わらわ交流会)
- ② ワケーションの推進
(都市の若者とのマッチング、お試しワケーション)
- ③ オフィス移転の支援、移住定住への補助

2 まちを創る

・町民との対話により、今ある公共施設を再生し長寿命化する

(1) 公共施設のリノベーション

- ① 東伯総合公園のPFI方式による
改修・運営
- ② 道の駅琴の浦観光拠点化 ※
- ③ ふなのえこども園・
成美地区公民館建設基本設計
- ④ 浦安地区公民館移転改修設計

(2) 地域活動と文化の振興

- ① 公民館のまちづくりセンター (仮称)
に向けた取組
- ② 文化芸術振興のあり方検討

(3) 力強い農業づくり

- ① スマート農業の推進
- ② もうかる6次化・農商工連携支援
- ③ 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策

(4) 総合計画及び過疎計画の策定

3 ひとを育てる

・コロナ禍で人の関係性が見直される中、
地域でひとをつくり、育てる

(1) 教育課題への対応

- ① 学校給食の公会計化
- ② コミュニティスクールの導入
- ③ 授業改善等の各校の特色を活かした
学校独自予算

(2) ICTと英語の重視

- ① デジタル教科書の拡充 再掲
- ② 小学校へのA L T 配置
- ③ 中学生の米国シアトル派遣事前調査

(3) 図書教育・活動の充実

- ① 小学校図書館司書の全校配置
- ② こども園への図書費新設

(4) 子ども・子育て支援

- ① 八橋放課後児童クラブ教室の増設 ※
- ② 乳幼児家庭保育支援給付金の拡充
- ③ 不妊・不育治療への助成

(5) 企業版ふるさと納税で熱中小学校運営

(6) 地域活性化センターとの連携による 3町職員研修

4 暮らしを充たす

・町民が明日も同じように暮らし続けられるよう、
コロナ後の新たな生活をつくる

(1) 地域発SDGs

- ① ゴミの減量化に向けた調査・分析
- ② ゴミリサイクルを考える自分ごと化会議
- ③ SDGs推進講演会とプラスチックリサイクル

(2) 地域内で経済を回す

- ① ことらバイ・ローカル運動
- ② 飲食店と生産者をつなぐマッチング
- ③ 琴浦でスタート！応援補助

(3) コロナ後に備える観光

- ① 道の駅琴の浦観光拠点化 再掲
- ② コロナ観光産業化プロジェクトの推進

(4) 健康づくりと地域福祉

- ① 産官学連携による健康寿命延伸プロジェクト
- ② 地域福祉計画の策定

(番外) 若手職員チームによる事業提案

- ① 惑星コトウラファイル (町民参加による町自慢図鑑)
- ② 惑星コトウラ衛星探索 (県外学生とのネットワーク)